

IBM SPSS Modeler Entity Analytics 詳細 設定

はじめに

本ガイドは、IBM SPSS Modeler Entity Analytics (EA) を設定して以下のいずれかを使用する 展開方法で実行するシステム管理者を対象としています。

- IBM SPSS Collaboration and Deployment Services (C&DS) バージョン 5
- IBM SPSS Modeler Server
- IBM Analytical Decision Management (DM) バージョン 7

概要

本ガイドでは、Coordinator of Processes (COP) クラスタ構成で実行する IBM SPSS Collaboration and Deployment Services、Decision Management または Modeler Servers を設定し、EA リポジトリにアクセスする方法について説明します。

EA リポジトリは、Modeler Server t を使用してリポジトリをホストするマシン上にセットアップする必要があります。 DM と C&DS のジョブおよびスコアリング サービスでは、この設定された Modeler 内でストリーミング EA ノードを使用して、このリポジトリを検索できます。

各 EA リポジトリは、単一のデータベース サーバー (たとえば、Modeler 15 プレミアム リリースの場合、IBM SolidDB データベース サーバー) と、各マシン上で実行する EA サービスの 1 つのインスタンスによって管理されます。

次の図は、C&DS スコアリング サービスを実行するマシンのクラスタの構成を示しています。

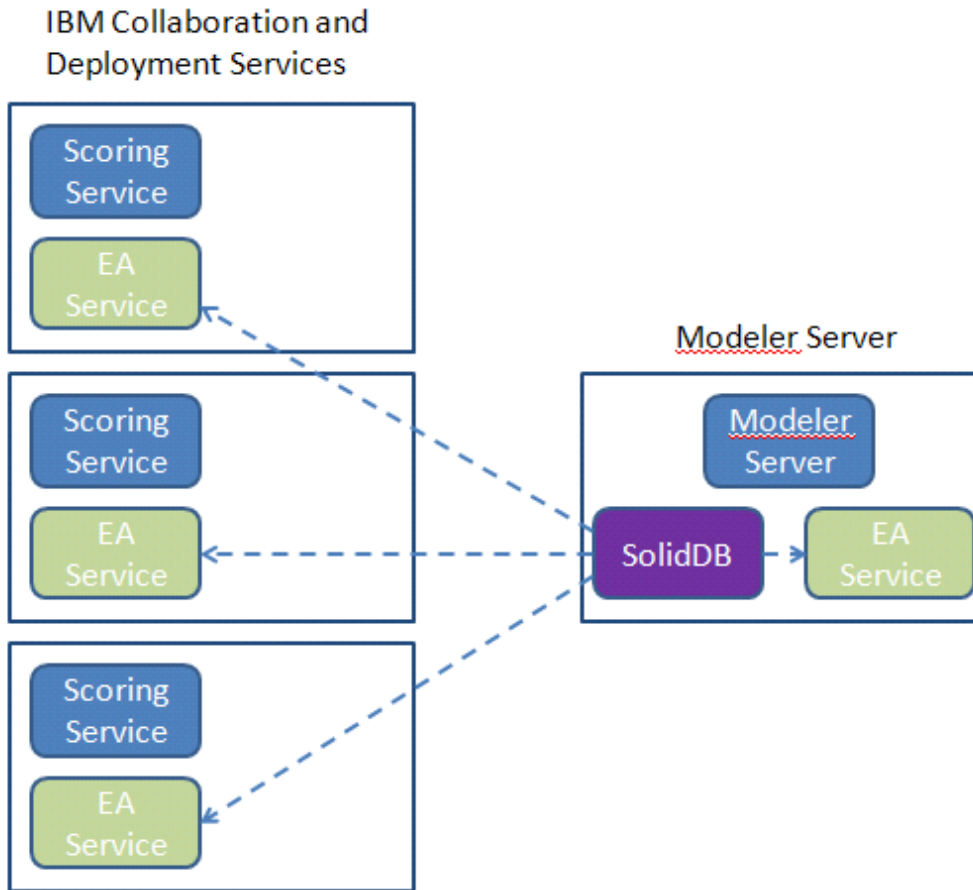


図 1 – C&DS – クラスタ マシンの構成

設定

最初の手順として、Modeler Server およびスコアリング サービスのマシン上の EA をインストールするフォルダの場所をメモします。設定時、この情報が必要になります。

各プラットフォームのデフォルトの場所は、次のとおりです。

Windows XP、Windows Server 2003:

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\IBM\SPSS\Modeler\15\EA

Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008:

C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\15\EA

UNIX:

<modeler-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA

Modeler Server – リポジトリ ホストの設定

前提条件として、Entity Analytics を Modeler Server のマシンにインストールし、このマシンに Entity Analytics リポジトリを作成しておく必要があります。このマシンを使用し、後で Collaboration and Deployment Services (C&DS) に保存し、スコアリング サービスでスコアリングするために展開するストリームを作成およびテストします。

本項では、スコアリング サービスと共有する各リポジトリの Modeler Server マシンの標準設定を変更する方法について説明します。この変更は、ローカル ポートではなく、外部ポートで solidDB がリスンするために必要です。

設定を変更するには、ファイル <EA folder>/repositories/<リポジトリ名>/solid.ini (<EA フォルダ> は EA のインストール場所、<リポジトリ名> は設定しているリポジトリの名前) を編集します。

solid.ini ファイルで、

[Com]

```
Listen=tcpip 1320
Connect=tcpip localhost 1320
```

上記を以下のように変更します。

[Com]

```
Listen=tcpip <fully-qualified-hostname> 1320
Connect=tcpip localhost 1320
```

例:

[Com]

```
Listen=tcPIP jupiter.mycompany.com 1320
Connect=tcPIP localhost 1320
```

上記の例では、SolidDB がリスンしているポートは 1320 です。スコアリング サービス マシンの設定時に必要になるため、ポート番号はメモしておいてください。

solid.ini を編集した後、Modeler Server マシン上の SolidDB データベース サーバーと EA サービスを再起動します。manage_repository スクリプトを使用した再起動の方法については、SolidDB および EA サービスの管理を参照してください。

C&DS の設定

各 C&DS または C&DS スコアリング サービス マシンで、各リポジトリをスコアリング サービスと共有するには、以下の設定変更を行う必要があります。

- (1) フォルダ <EA フォルダ>/repositories/<リポジトリ名> を作成します。

(<リポジトリ名> は Modeler Server マシン上のリポジトリの名前です。)

- (2) ファイル <EA フォルダ>/g2_config.xml を編集し、各リポジトリの新しいインスタンスを追加します。

このファイルは、EA のコンポーネントによって使用され、指定されたリポジトリの g2 ウェブ サービスを探します。例:

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no" ?>
<config>
  <g2instances>
    <instance name="AAA"
      g2port="1975" g2host="localhost"
      host="jupiter.mycompany.com" port="1320" />
  </g2instances>
</config>
```

重要な情報は次のとおりです。

- **name** 属性 (リポジトリ名) は Modeler Server マシンで使用されるリポジトリの名前と一致する必要があります。
- **g2port** 属性を設定します (g2 サービスがスコアリング サービスのマシンで現在使用されていないポートをリスンするポートを指定します)。
- **g2host** 属性を「localhost」に設定します。

- **host** 属性を Modeler Server / SolidDB を実行しているマシンのホスト名に指定します。
 - **port** 属性を SolidDB によって使用されるポート番号に設定します。
- (3) <modeler インストールディレクトリ>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini f ファイルをステップ (1) で作成した新しいフォルダにコピーし、g2.ini の新しいコピーを次のように編集します。
- 2つの {DataFolder} をフォルダ <modeler インストールディレクトリ>/ext/bin/pasw.entityanalytics/data へのフルパスに変更します。
 - UNIX の場合、{Port} を SolidDB が Modeler Server マシンでリスンしている場所を示す「<ホスト><ポート>」の形式の文字列に変更します。

Windows の場合、{Port} を SolidDB が Modeler Server マシンでリスンしている場所を示す「<port>」の形式の文字列に変更します。元の g2.ini ファイルは次のとおりです。

```
#
# G2.INI
#

[GNR]
  SUPPORTPATH={DataFolder}

[ER]
  SUPPORTPATH={DataFolder}

[SQL]
  CONNECTION=solid://G2USER:G2PASSWD@tcp {Port}
  LAST_TOUCH_WAIT=10
  AUTO_UNTOUCH=1
...
```

編集された g2.ini ファイルは次のようになります (UNIX)

```
#
# G2.INI
#

[GNR]
  SUPPORTPATH=/usr/IBM/SPSS/ModelerServer/15.0/ext/bin/pasw.entityanalytics/data

[ER]
  SUPPORTPATH=/usr/IBM/SPSS/ModelerServer/15.0/ext/bin/pasw.entityanalytics/data
```

```
[SQL]
CONNECTION=solid://G2USER:G2PASSWD@tcp jupiter.mycompany.com 1320
LAST_TOUCH_WAIT=10
AUTO_UNTOUCH=1
...
```

編集された *g2.ini* ファイルは次のようになります (*Windows*)

```
#
# G2.INI
#

[GNR]
SUPPORTPATH=C:\プログラム ファイル
\IBM\SPSS\Modeler\15\ext\bin\pasw.entityanalytics\data

[ER]
SUPPORTPATH= C:\プログラム ファイル
\IBM\SPSS\Modeler\15\ext\bin\pasw.entityanalytics\data

[SQL]
CONNECTION=solid://G2USER:G2PASSWD@tcp 1320
LAST_TOUCH_WAIT=10
AUTO_UNTOUCH=1
...
```

(4) *Windows* のみ - SolidDB サーバーで ODBC 接続を設定します。

- ODBC ドライバは SolidDB 7.0 (Unicode) でなければなりません。このドライバは Modeler Adapter インストールの一部としてインストールされます。
- DSN を「tcp <ポート>」に設定します。<ポート> は SolidDB がリスンする Modeler Server マシンのポートです。
- NetworkName を「<ホスト名> <ポート>」に設定します。<ホスト名> は Modeler Server マシンのホスト名で、<port> は SolidDB サーバーがリスンするポートです。

(5) <modeler インストールディレクトリ>/ext/bin/pasw.entityanalytics/ea.cfg ファイルを編集し、次の行を追加します。

```
service_management, 0
```

以上の手順を完了した後、`manage_repository` スクリプトを使用した後 C&DS マシンで各 EA サービスを開始する必要があります。詳細は、SolidDB および EA サービスの管理 を参照してください。

SolidDB および EA サービスの管理

Modeler Server マシン上では、SolidDB および EA サービス プロセスは Modeler Server とは別に管理されます。 Modeler ストリームを実行する必要があるときに実行していない場合、必要に応じて開始し、Modeler Server が実行していても停止してても実行し続けます。

manage_repository スクリプトを使用し、管理者によって開始、確認、停止することもできます。

EA サービスを開始および停止するには、manage_repository スクリプトをスコアリング マシンで使用する必要があります (スコアリング マシンでは、SolidDB インスタンスはローカルで実行せず、起動または停止もしません)。 EA サービスは自動的に開始しません。

EA サービス (必要に応じて SolidDB サーバー) を開始するには

```
cd <modeler インストールディレクトリ>\ext\bin\pasw.entityanalytics  
manage_repository.bat|.sh -start <リポジトリ名> <ユーザー名> <パスワード>
```

例:

```
pasw.entityanalytics > ./manage_repository.sh -start AAA myuser mypass  
Starting SolidDB server...  
SolidDB server started  
Starting EA service...
```

EA サービスおよび SolidDB が実行しているかどうかを確認するには

-check オプションで manage_repository s スクリプトを起動します。

```
cd <modeler インストールディレクトリ>\ext\bin\pasw.entityanalytics  
manage_repository.bat|.sh -check<リポジトリ名> <ユーザー名> <パスワード>
```

例:

```
pasw.entityanalytics > ./manage_repository.sh -check AAA myuser mypass  
SolidDB server is running on host localhost, port 1320  
EA service is running on host localhost, port 1321
```

EA サービス (必要に応じて SolidDB サーバー) を停止するには

-stop オプションで manage_repository s スクリプトを起動します。

```
cd <modeler インストールディレクトリ>\ext\bin\pasw.entityanalytics  
manage_repository.bat|.sh -stop <リポジトリ名> <ユーザー名> <パスワード>
```

例:

```
pasw.entityanalytics> ./manage_repository.sh -stop AAA myuser mypass
Stopping local EA service
Shutdown command sent to EA service
Stopping local SolidDB server
Shutdown command sent to SolidDB server
```

COP クラスタ向けの設定

この設定は、C&DS 向けの設定とほぼ同じです。

リポジトリをホストする Modeler Server マシンを 1 つ選択し、Modeler Server – リポジトリ ホストの設定の指示に従って再設定します。

C&DS の設定の指示に従って、残りの Modeler Server マシンを設定します。 **注:** ステップ (5) を省略し、ea.cfg を再設定します。

次の図は、Modeler Server を実行するマシンのクラスタの構成を示しています。

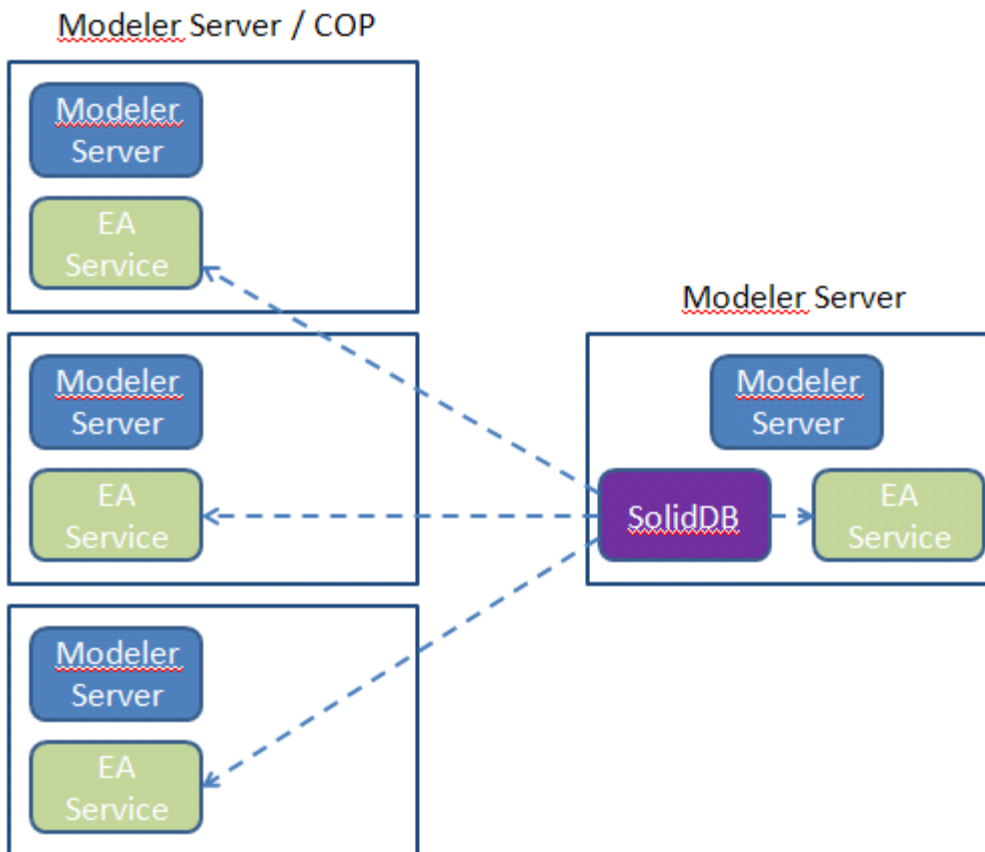


図 2 – Modeler Server – COP クラスタ マシンの構成